



適正な網目の漁網を手にする漁業者

任意団体 Bangladesh POUSH

バングラデシュ国テクナフ半島の 住民によるベンガル湾の生物多様性 保全のための「責任ある漁業」の推進

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

漁業者を対象の
環境教育研修の実施

90人

保護区設置による
ウミガメの孵化

3,500個体

活動の全体目標に
対する達成度

40%

課 題

環境変化や持続的でない資源利用によって危機にあるベンガル湾の生物多様性保全のため、資源の直接利用者である漁業者の環境認識を高め、能力構築を図り、行動変容を促す。

活動内容

活動対象村を四つ選び、漁業者への聞き取りなどによって、頻繁に混獲される魚種（非商業種・稚魚・幼生など）を見極め、環境教育（生物多様性保全の意義、稚魚のリリースの必要性、リリースの手法など）のベンガル語テキストを作成、環境教育研修を実施した。砂浜に産卵にくるウミガメの卵の保護エリアを設置し、卵の盗掘や野犬による食害を防止し、自然孵化を促進した。ポスター、看板などによる啓発活動を実施した。



ワークショップで積極的に
発言する参加者

今後の課題

ベンガル湾は広大な海洋で、その保全と持続可能な利用には、より広域で「責任ある漁業」が実施されることが望ましい。本事業をモデルケースとし、周辺コミュニティに少しずつでも活動が広がっていくことが重要である。

成果と工夫した ポイント



成果

コミュニティの漁業者90人が研修に参加。ガイドブックやポスターは活動地域外からも要望があり、大きな普及効果。適正漁網4枚によるモデル漁業の開始。保護下で孵化したウミガメが目標値の17倍以上に達した。

工夫

活動には漁業コミュニティの積極的な参加が不可欠で、参加しやすい季節や時間帯を検討して計画した。